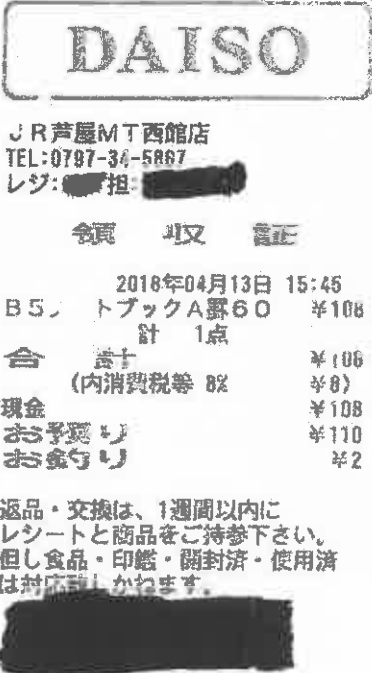


政務活動費領収書等貼付用紙

整理番号	1
支出年月日	平成 30年 4月 13日
支出項目	調査研究費 研修費 広報費 広聴費 要請・陳情活動費 会議費 <u>資料作成費</u> 資料購入費 人件費 事務所費
領収書等貼付欄 (支出年月日と支出項目が同一の領収書等は、まとめて貼付できます。)	
 <p>領収書</p> <p>2018年04月13日 15:45</p> <p>B5 トブックA罫60 ¥108</p> <p>計 1点</p> <p>合計 ¥108</p> <p>(内消費税等 8% ¥8)</p> <p>現金 ¥108</p> <p>お釣り ¥110</p> <p>お釣り ¥2</p> <p>返品・交換は、1週間以内に レシートと商品をご持参下さい。 但し食品・印鑑・開封済・使用済 は対応出来ません。</p>	
支出内容 (按分の計算方法)	ノート 1冊分
その他	

\* まとめて貼付する場合、領収書等が重ならないようにしてください。

\* 領収書等のサイズが大きい場合は、裏面に貼付してください。





平成30年度

市町村議会議員研修[2日間コース]

# 住民とのコミュニケーション

## ～対話と発信力の向上～

自治体を取り巻く課題が山積し、地域住民のニーズが多様化するなか、議員としての役割を果たしていくためには、住民の声に耳を傾け、それらを施策に反映させることや、施策等を住民に分かりやすく伝えることなどが重要で、この研修では、講義・演習を通して、下記のポイントを中心に、議員のコミュニケーション能力のさらなる向上を目指します。

### 研修のポイント

- 日頃の活動のなかでの住民とのコミュニケーションについて振り返ります。
- 住民の多様な声や、地域に潜在するニーズを広く把握し理解することについて学びます。
- 地域の情報や施策など、伝えたいことや住民が求めていることを、より分かりやすく発信することについて、SNSなども含めた様々な媒体の活用と注意すべき点について考えます。
- 研修で得た気づきを自身の活動に照らし、今後の展開につなげます。

### 開催要領

- 日程** 平成30年4月19日(木)～4月20日(金) (2日間)
- 場所** 全国市町村国際文化研修所 JR京都駅より湖西線約15分 唐崎駅下車徒歩約3分
- 対象** 市区町村議会議員の皆様  
2日間全日程をご受講いただける方を対象とします。途中退所や一時離席はできませんのでご注意ください。  
※より多くの方に受講していただくため、申込人数によっては、平成29年度の例研修(4月20日～21日実施)を受講された方のお申込みをお断りする場合がありますので、予めご了承ください。
- 募集人数** 60人 募集人数を大幅に超えた場合は、申込期限後に抽選等させていただきますので、予めご了承ください  
(市区及び町村の区分における申込者の人数により、受講者の人数を按分して抽選、決定します)。なお、受講者の決定については、他の研修、セミナーの申込み・受講の有無にかかわらず、本研修単独で行います。
- 宿泊** 研修所宿泊棟(宿泊型研修) ※外泊はできません。
- 経費** 7,300円 左記金額は、研修、宿泊、食料(朝食1回、昼食2回、夕食1回)、資料等にかかる費用です。  
なお、事前準備・事前学習にかかる費用は含まれておりません。
- 申込期限** 平成30年3月13日(火)まで
- 申込方法** 研修生募集を通じて、JIAMホームページ内「研修Web申込みフォーム」からお申し込みください。  
「Web申込み」が難しい場合は、受講申込書により議会事務局を通じてFAXでお申込ください。  
※受講申込書は、議会事務局に送付しております。またJIAMホームページのダウンロード(https://www.jiam.jp/doc/)にも掲載しております。
- 受講決定** 受講の可否については、締切日の約1か月前までに通知をお送りします。  
経費納入方法等の手続きについては、受講決定通知書によりお知らせします。
- 事前課題** 研修受講にあたって、事前課題に取り組んでいただく予定です。詳細は受講決定通知書送付時にお知らせします。

● 問い合わせ先 ●

2-2

公益財団法人 全国市町村国際文化研修財団 全国市町村国際文化研修所(JIAM) 教務部

〒520-0106 滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号 TEL 077-578-5932 FAX 077-578-5906

[e-mail] kenshu@jiam.jp [ホームページ] https://www.jiam.jp

平成30年  
4月  
19日(木)

11:00～ 入寮受付・昼食

12:30～ 開講式・オリエンテーション

13:00～17:00

**講義・演習 住民とのコミュニケーション I**

京都造形芸術大学副学長、特定非営利活動法人学習学協会 代表理事 **本間 正人氏**

日頃の活動における住民とのコミュニケーションについてふりかえり、参加体験型学習を通して、住民の多様な声や地域に潜在しているニーズを広く把握し、理解することについて学び考えます。また、地域の情報や施策など、住民に伝えたいことや住民が必要としている情報をより分かりやすく発信することについて、SNS等の媒体を含めた活用とその際の注意すべき点について学びます。

17:30～ **交流会** 夕食を兼ねて、ともに学ぶ受講者同士の親睦(情報交換・交流)を深めます。

平成30年  
4月  
20日(金)

9:25～14:10

**講義・演習 住民とのコミュニケーション II**

京都造形芸術大学副学長、特定非営利活動法人学習学協会 代表理事 **本間 正人氏**

前日に引き続き、参加体験型学習を通して学び、コミュニケーション能力のさらなる向上を目指します。また、2日間の研修のふりかえりとまとめを行い、今後の議員活動につなげます。

14:10～14:25

**閉講・事務連絡**

## 【講師紹介】

### 本間 正人(ほんま まさと)氏

京都造形芸術大学教授・副学長、特定非営利活動法人学習学協会代表理事

東京大学文学部社会科学科卒業後、松下政経塾第3期生として入塾し、松下幸之助の経営哲学を学ぶ。ミネソタ大学大学院修了(成人教育学 Ph.D.)。

ミネソタ州政府貿易局、松下政経塾研究主担当(研究部門責任者)、NHK教育テレビ「実践ビジネス英会話」「三か月トピック英会話：SNSで磨く英語アウトプット表現術」の講師などを歴任。

一般社団法人大学イノベーション研究所代表理事、アカデミックコーチング学会会長、一般社団法人キャリア教育コーディネーターネットワーク協議会理事、一般財団法人しつもん財団理事などをつとめる。

「教育学」を超える「学習学」を提唱。「研修講師塾」を主宰し多数の講師を養成。超参加型の企業研修講師(エデュテイナー)として定評がある。コーチングやポジティブ組織開発、ほめ言葉などの著書多数。

- 研修内容については、都合により変更になることがありますので、予めご了承ください。  
なお、研修についての最新情報は、JIAMホームページをご覧ください。
- 受講者による講義中の録音・写真撮影は、固くお断りしております。
- 当研修所では、宿泊室を全室禁煙としております。喫煙は所定の喫煙場所をお願いいたします。

## JIAMメールマガジンのお知らせ

当研修所では、メールマガジンを発行しています。各研修に関する最新情報などを定期的にお知らせします。ぜひご登録ください。

読者登録は、JIAMホームページで受け付けています。

兵庫県 芦屋市議会議長様

公益財団法人全国市町村研修財団  
全国市町村国際文化研修所

学長 松崎 茂

滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号

研修受講の決定について

先にお申込みいただきました貴所属議員の研修受講について、次のとおり決定しましたので、お知らせいたします。  
つきましては、以下の事項にご留意のうえ、所要の事務手続等についてよろしくお願  
いします。

氏名	大原 裕貴
コース名	平成30年度市町村議会議員研修 [2日間コース] 住民とのコミュニ ケーション～対話と発信力の向上～
研修期間	平成30年4月19日 (木) ～ 4月20日 (金)

1 研修受講に要する経費の納入について

下記金額を指定期間内に指定口座へ振り込んでください。  
なお、本決定通知をもって請求書に代えさせていただき、別途請求書は発行しま  
せん。

(1) 納入金額：7,300円 <内訳> 研修費(@1,200) 2,400円  
食費 2,650円  
研修生活動費 2,250円


(2) 指定期間：平成30年4月10日 (火) ～ 4月16日 (月)

(3) 指定口座： 〇〇銀行 〇〇支店 普通 No. 〇〇〇〇〇〇〇〇  
〇〇銀行 〇〇支店 普通 No. 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇  
名義人：サイ センコクシヨウリンケンシユウ イ  
センコクシヨウリンコクサイフンカンシユウ  
(公財)全国市町村研修財団  
全国市町村国際文化研修所

注1) 振込依頼書の「ご依頼人氏名欄」は、必ず貴団体名を記入してください。  
注2) 貴団体からの振込通知書の送付は不要です。

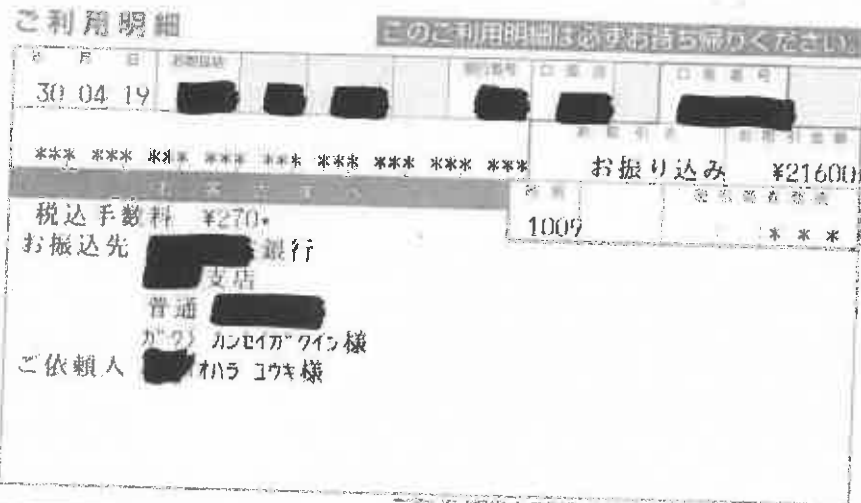
- 2 受講者に対する連絡指導について  
同封した以下の書類を受講者に渡していただき、受講者が必要な事前の準備を整え  
たうえ、所定の日時（平成30年4月19日11：00～12：00の間）に研修所に入所するよ  
う指導してください。
  - ・受講にあたっての留意事項（受講者用）
  - ・受講される皆さまへ
  - ・時間割
  - ・JR湖西線時刻表／研修所周辺地図
  - ・研修のしおり
  - ・研修所パンフレット
- 3 受講者を研修に専念させることについて  
研修期間中は、研修に専念していただくため、緊急の場合を除き、職務の都合によ  
り途中退所や一時帰庁するのはもちろんのこと、職務関連の電話連絡を受けること  
のないよう、事前準備についてお伝えください。
- 4 研修所への利用交通機関等について  
研修所は、JR湖西線・唐崎駅より徒歩3分です。唐崎駅には快速・新快速列車は  
停車しませんので、ご注意ください。  
所内の駐車スペースには限りがありますので、来所の際は、なるべく公共交通機関  
をご利用ください。なお、研修期間中は、休日を除いて車での外出はできません。
- 5 最終日の宿泊について  
最終日の宿泊はできませんので、当日帰れない場合は、別途宿泊場所の確保及び手  
当の支給等の用意をお願いします。  
最終日の研修終了時刻は、14時25分頃です。
- 6 受講申込みの取消等について  
この受講決定通知受領後の申込みの取消（受講辞退）は、原則として認めません。  
疾病その他真に止むを得ない事由により、受講が困難となった場合や受講者を変更  
しなければならないこととなった場合には、直ちにその旨を当研修所（教務部）に連  
絡してください。  
なお、万一受講辞退となった場合であっても、ご負担いただく経費（手配済物品の  
費用等）が発生することがありますので、ご了承ください。
- 7 インフルエンザ等への対応について  
当研修所では、集団研修を実施している組織として、感染症等の予防の徹底等に  
努めているところですが、受講者の安全性の確保が必要ですので、これらに該当す  
る方の受講をご遠慮いただくことがあります。あらかじめご了承ください。
- 8 問い合わせ先  
全国市町村国際文化研修所（JIAM）  
【研修に関すること】 教務部 TEL:077-578-5932 担当： XXXXXXXXXX  
【経費納入に関すること】 経理課 TEL:077-578-5931

### 政務活動費領収書等貼付用紙

整理番号	3
支出年月日	平成 30 年 4 月 19 日
支出項目	調査研究費 <u>研修費</u> 広報費 広聴費 要請・陳情活動費 会議費 資料作成費 資料購入費 人件費 事務所費
領収書等貼付欄 (支出年月日と支出項目が同一の領収書等は、まとめて貼付できます。)	
	
支出内容 (按分の計算方法)	研修 (住民とのコミュニケーション〜対話と発信力の向上〜) 輸送に要した交通費 (JR 芦屋 ⇒ JR 唐崎)
その他	

## 政務活動費領収書等貼付用紙

整理番号	4
支出年月日	平成 30年 4月 19日
支出項目	調査研究費 <u>研修費</u> 広報費 広聴費 要請・陳情活動費 会議費 資料作成費 資料購入費 人件費 事務所費
領収書等貼付欄 (支出年月日と支出項目が同一の領収書等は、まとめて貼付できます。)	



支出内容 (按分の計算方法)	「自治体監査のための監査論入門」研修参加費 総費用 21,600円 + 振込手数料 270円
その他	





経営戦略講座

2018/3/18

## 自治体監査のための監査論入門 (石原 俊彦)

地方自治法第150条が改正されて都道府県や政令指定都市では、内部統制の構築が義務付けられました。全国都市監査委員会でも監査基準が改訂され、本格的に監査リスクアプローチが導入されます。地方自治体の監査を取り巻く状況はこのように激変しています。従来自治体の監査は前例踏襲で、手続準拠性の監査と目されていました。監査意見や監査結果も、保証型ではなく指摘型で意見表明することが許されていました。しかし、首長が内部統制の状況を評価して作成する報告書を、監査委員が監査して議会に報告を行う段階においては、監査を指摘型で進めることはもはや困難になっています。自治体監査でも保証型の監査に輪足を要し、論理的な監査のアプローチに基づいて、監査全般の実施が求められることになります。

監査の学習は決して難しいものではありませんが、これまでのように事務引継書や前任者の監査調査の内容をそのままフォローするだけでは、監査の基本的な事項を理解することが困難です。また、監査の基礎となる理論をマスターできない状況で実施される監査は、本当は監査ではなく単なるチェックにすぎません。本講座では、通常90分授業で25回程度で実施される大学学部レベルの監査論の基本認識を、自治体監査に必要な部分に圧縮し、かつ、最も基本的な内容にのみ焦点を絞ることで、10時間で一通りマスターしようと企図しています。講義の主たる対象は民間企業の財務諸表監査ですが、この内容を理解することが、自治体監査を理解する最も早道です。本講座を受講することで、自治体監査関係者の多くが、従来とは異なる視点で監査業務に従事できるようになることが期待されます。なお、本講座の修了証を取得した受講者(自治体職員・地方議員・監査委員他)は、英国勅許公共財務会計協会(CIPFA)日本支部が認定する「地方監査会計技能士」の資格取得が可能です。現在、地方監査会計技能士の資格取得者は全国に約500名。その過半数は、地方自治体職員と地方議員です。

### 【講師】



石原 俊彦

博士(商学) 関西学院大学 公認会計士

経理兼地方行政研究会編纂委員、民間財団30年地方行政調査委員、各都府支庁交通政策推進委員会委員兼委員長、自治体監査委員など、政府と地方自治体の間に多数担当。現在も京都府府会(京都府府会)や京都市公営の審議会委員を務める。公認会計士の資格を所持2011年から日本公認会計士協会本部理事を二期務め、国際活動として英国勅許公共財務会計協会(CIPFA)本部理事兼日本支部長、英連邦公認会計師に認定しネットワークを打ち、2007年から3年間東洋大学(バーミンガム大学客員教授、国際公認会計士協会(2013年6月~2016年5月)、第24回日本公認会計士協会年会(1999年)と第12回日本内部監査推進員会(1999年)を受賞。

主な担当科目：会計学、会計理論、社会実務バランス

### 【受講をお勧めしたい方】

- ・公認会計士の資格を持たない監査委員
- ・自治体の監査委員事務局職員
- ・民間企業の理財本部等で公認会計士等の監査対応を行っているビジネスマン
- ・関西学院大学ビジネススクールの自治体・医療・大学プログラムへの進学を検討中の皆さん等

### 【受講に必要な知識・実務経験】

4-2



**第1回 2018年5月15日(火) 19:00~21:30**

**財務諸表監査の基本フレームワーク**

公認会計士や監査法人が監査主体として実践している民間企業の財務諸表監査における基本的なフレームワークを解説します。また、金融証券取引法監査と会社法監査の概要を解説します。受講生は講義を通じて、財務諸表監査の基礎概念を理解することができるようになります。

**第2回 2018年5月22日(火) 19:00~21:30**

**監査計画の立案と内部統制**

監査は監査意見を表明するために監査証拠を収集評価するプロセスです。要証命題(監査要点)の導出から、必要とされる監査証拠の事前評価を介して、監査人は内部統制の評価も含めた、監査計画を立案することになります。監査計画の良否で、人員・予算・時間といった監査資源の戦略的活用が大きな影響を受けます。監査は極めて戦略性の高い証拠収集のプロセスであるということが、第2回の講義を通じて理解されることになります。

**第3回 2018年5月29日(火) 19:00~21:30**

**監査証拠と監査リスクアプローチ**

十分に有効な監査証拠を、リスクアプローチを通じてどう効率的に収集するか。第3回の講義では、監査の最も重要な問題である監査証拠の調査と評価の論理を、リスクアプローチを用いて解説します。

**第4回 2018年6月5日(火) 19:00~21:30**

**監査手続と監査報告**

第4回目の講義では、内部統制の評価やサンプリング、分析的手続などの監査手続について学習します。これらの概念と監査要点や監査証拠、監査報告との関連性を理解することで、監査実施の基本フレームワークが容易に理解できるようになります。また、第4回の講義では、監査結果を監査意見としてどう報告するのかを学習します。

※ 毎回の講義の内容は前後することがありますので、受講生は4回すべての履修を前提に受講してください。

**【申込・受講料納入方法】**

受講にあたっては、事前の申込・受講料納入が必要です。

受講申込は各講義の「申込」から行ってください。

申込は先着順(定員25名)で、申込期限は原則として各講義開始の2週間前までです。

1. 申込フォームに必要事項を入力して送信してください。
2. 自動返信により申込受付メールが届きます。
3. 申込日から3日以内に受講料を振り込んでください。⇒以下の「受講料振込について」をご確認ください。
4. 講義開始の約1週間前に事務局から受講案内のメールをお送りします。

**受講料振込について**

・受講費用は21,600円です。

[受講料振込方法・振込用紙 \(21,600円\) \(PDF:308KB\)](#)

・講義開始1週間前以降、申込取りやめによる返金はいたしかねます。

**☆2講座目以降受講の方への受講特典！**

経営戦略講座にて2講座目以降の受講費用は19,440円となります。

2017年度に経営戦略講座を受講された方の受講費用は19,440円となります。

申込フォーム送信欄に以前に受講した講座名を記入してください。

[受講料振込方法・振込用紙 \(19,440円\) \(PDF:308KB\)](#)

**【お申し込み】**

お申し込みはこちらから⇒[申込フォーム](#)

4-3



キーワードから選ぶ

#経営戦略 #コラム #在学生 #監査 #会計 #動画 #設備メッセージ #終了生メッセージ #終了生

おすすめ記事



各分野で活躍する終了生たちが、IBAを語る Part2

2018年04月06日



各分野で活躍する終了生たちが、IBAを語る Part1

2018年04月06日



関学がっないでくれた多くのビジネスチャンス 知識と経験に磨きをかけ、「挑戦する2年間」に

2018年04月06日



慣れてこなす毎日に芽生えた危機感。仕事を もっと好きになるための一歩が大きな変化に

2018年04月06日



サイト内検索

関学 関西国際大学 経営戦略研究科

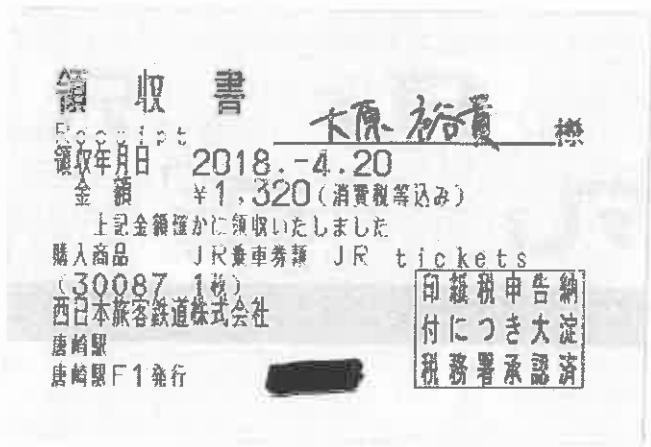
IBABASIS

Facebook

〒599-8501 大阪府堺市東区大浜1-1-1

政務活動費領収書等貼付用紙

整理番号	5
支出年月日	平成 30 年 4 月 20 日
支出項目	調査研究費 <u>研修費</u> 広報費 広聴費 要請・陳情活動費 会議費 資料作成費 資料購入費 人件費 事務所費
領収書等貼付欄 (支出年月日と支出項目が同一の領収書等は、まとめて貼付できます。)	



支出内容 (按分の計算方法)	研修 (住民とのコミュニケーション~対話と発信力の向上~) 参加に要した交通費 (JR唐崎⇒JR草屋)
その他	

政務活動費領収書等貼付用紙

整理番号	6										
支出年月日	平成 30年 4月 20日										
支出項目	調査研究費 研修費 広報費 広聴費 要請・陳情活動費 会議費 資料作成費 資料購入費 人件費 (事務所費)										
領収書等貼付欄 (支出年月日と支出項目が同一の領収書等は、まとめて貼付できます。)											
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p><b>ご利用明細</b></p> <p>本日はご来店いただきありがとうございます。 ご利用明細をご印刷のうえ、お持ち帰りください。 ※裏面のご案内もあわせてごらんください。</p> <p style="text-align: right;">SMBC</p> <p><b>☆☆お振込☆☆</b></p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>お振込金額</td> <td style="text-align: right;">¥52,900</td> </tr> <tr> <td>振込手数料</td> <td style="text-align: right;">¥108</td> </tr> </table> <p>お振込人は [銀行] 銀行 [支店] 支店 [普通] 普通 [口座] 口座</p> <p>お振込人は テラマイ タカミ 様</p> <p>お取扱日30. 4.20 電信振込</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <table border="1" style="font-size: small;"> <tr> <td>振込日</td> <td>年月日</td> <td>時刻</td> </tr> <tr> <td>[ ]</td> <td>30. 4.20</td> <td>09:11</td> </tr> </table> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; font-size: x-small;">             印紙税申告 付につき返却 税務関係書類 済           </div> </div> <p style="text-align: center; font-weight: bold;">三井住友銀行</p> </div>		お振込金額	¥52,900	振込手数料	¥108	振込日	年月日	時刻	[ ]	30. 4.20	09:11
お振込金額	¥52,900										
振込手数料	¥108										
振込日	年月日	時刻									
[ ]	30. 4.20	09:11									
支出内容 (按分の計算方法)	(賃料 52,900円 + 振込料 108円) × 按分率 $\frac{1}{4}$ = 13,252円										
その他											

\* まとめて貼付する場合、領収書等が重ならないようにしてください。

\* 領収書等のサイズが大きい場合は、裏面に貼付してください。

政務活動費領収書等貼付用紙

整理番号	7								
支出年月日	平成 30 年 4 月 30 日								
支出項目	調査研究費 研修費 広報費 広聴費 要請・陳情活動費 会議費 資料作成費 <u>資料購入費</u> 人件費 <u>事務費</u>								
領収書等貼付	新聞購読料 領 収 証 (貼付できます。)								
寺前 尊文 様 ご購読ありがとうございます。 下記金額を正に領収いたしました。 2018 年 4 月分 領収日 4 月 30 日 領 収 金 額 ￥1,887									
<table border="1"> <thead> <tr> <th>品 名</th> <th>定価(税込)</th> <th>部 数</th> <th>金 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table>		品 名	定価(税込)	部 数	金 額				
品 名	定価(税込)	部 数	金 額						
その他購読料等 領 収 証									
<table border="1"> <thead> <tr> <th>品 名</th> <th>定価(税込)</th> <th>部 数</th> <th>金 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>公明新聞</td> <td>1,887</td> <td>1</td> <td>1,887</td> </tr> </tbody> </table>		品 名	定価(税込)	部 数	金 額	公明新聞	1,887	1	1,887
品 名	定価(税込)	部 数	金 額						
公明新聞	1,887	1	1,887						
販売店 住所 TEL FAX お申込№									
支出内訳 (按分の計算方法)									
その他									

- \* まとめて貼付する場合、領収書等が重ならないようにしてください。
- \* 領収書等のサイズが大きい場合は、裏面に貼付してください。